



いわき探検記



2023年2月 Vol.12
地域おこし協力隊
辻村 春香

1月は、年明けの観光協会の展示の手伝いや、2月に控えた自分の企画の準備等で終わるように過ぎ去ってしまいました。

今年の冬は、昨年久しぶりに過ごした青森の冬にも増して、寒い冬だと感じております。寒波はしょうがないですが、「大寒波」は来てほしくないと思いながら、過ごしております。

居場所づくり @ 五代多目的集会所 (みんなの居場所 ステップ44)

1月21日(土)の居場所づくりは「獅子舞を踊ってみよう」でした!

広報ひろさき1月1日号に掲載していただきましたが、やはり広報力の不足を感じました。来てくださったのは、城南地区からの4大家族。

ご長男が「獅子舞に興味しんしん」とのこと。

獅子舞に触れる機会をキャッチする機会が少なかったことから、「少し遠いけれど…」と思いつつも、来てくださったそう。

まずは、十数年前に撮影されたビデオを見て全体像を把握。その後、ステップ44の代表であり、五代獅子舞保存会の会長である鈴木さんが一節ずつ区切って、家族4人と一緒に踊りました。

開始1時間後。ふだん獅子舞を頑張っている小学生3人兄弟(駒越町会)も練習に加わり、1人につき1人のお手本で、獅子舞を踊りました。

その様子は、1月25日の東奥日報にも取り上げていただきました!

<https://www.toonippo.co.jp/articles/-/1488737>



踊った後は、お菓子を食ながら歓談。見学に来た五代町会の方も、「2月の練習からお囃子に」ということで、獅子舞のメンバーになってくれるそう。

これからの獅子舞が楽しみです!!



演習の合間に、城南から来た女の子に、獅子頭をかぶる体験も。



来年度の企画も募集中。アイデアください!

次回 2月18日(土)9:00~開場 「誰でも! ヨガ体験」 @ 五代多目的集会所

2月は、ヨガ療法士でもある、ステップ44の代表・鈴木さんのヨガ教室。

無理をしない動きで、体のコリをほぐしませんか?

冬の寒さで凝った部分をほぐすのに、最適なヨガの動きも、お話をお聞きしながら教えてくださるそうです。

「ヨガは初めて。」という方でも大丈夫。

またヨガは、女性だけのものではありません。男性も歓迎です。

ゆる~りとした運動をしにきませんか?

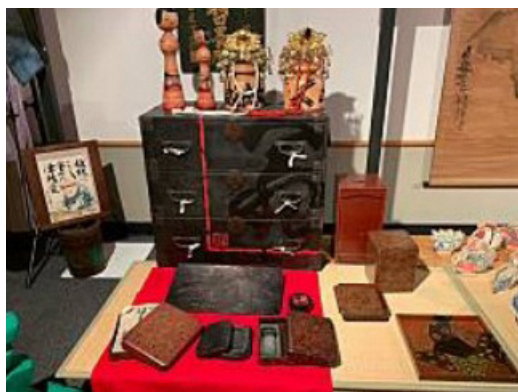
※運動できる服装でおいでください!



1月上旬★展示「岩木山に棲む」設営～撤去までお手伝い

1月7～9日の3連休、弘前市立観光館で展示がおこなわれました。
展示品は、岩木地区在住の画家・書家・ねふた絵師である八嶋龍仙さんの作品・所蔵品。

実はこの展示、展示期間よりも会場設営に時間がかかりました。
12月の搬入はお手伝いできませんでしたが、1月4～6日の3日間、新聞にも載った“岩木山”のオブジェクト製作や会場の設営、展示作業に参加いたしました。
展示期間中も2日、来場者で展示品を前に戸惑っている方にお声がけし、龍仙さんから教えていただいた展示品の由来等をお話させていただきました。
撤収作業は、展示最終日の夕方から行われ、あっという間に片付いてしまい…。
ちょっと寂しい感じがいたしました。



現代の津軽塗とは雰囲気異なる、昔の津軽塗。
なかなか、目の保養でした。



なかなか見ることのできない刺し子やこぎんも展示されていました。
普段使いのものも、奥様からお借りして展示していたのだとか。

イグルーづくりの視察に行ってきました！

青森大学の佐々木教授を中心に、県内外でイグルーをつくっている方々がいます。

岩木地区には、青大チーム未進出！！

ということで、来シーズンに岩木進出を狙うべく、つがる地球村で5日間行われた“イグルーづくり体験”（主催：青森県西北地域県民局）に参加してきました。←5日間ビッチリではございません。

きらい
佐々木教授と喜来助手とは面識があり、事前にご指南と撮影の許可をいただいて参加しました。また、岩木地区で実施する際に必要なモノ・ヒト・費用などもお聞きいたしました。

また、雪構造物なので“できる限り長い時間活用したい”と考えたら、12月～1月中旬までには作っておきたいと思えるところ。

来シーズンでの岩木地区実現を目指します！

雪専用ののこぎり“スノーソー”で、踏み固めた雪をブロック状に切り出し、積み上げて作ります。
しっかり踏ん張らないと腰が…。



1月28日 岩木みらい会議が開催されました！

岩木地区にある2つの協議会“1625岩木の魅力推進協議会”“岩木地区地域おこし協力隊活動応援協議会”がともに地域づくりに関する活動をしている、ということで、共催で行われた今回のワークショップ。

参加者が集まるかどうか、事務局はヤキモキしていましたが、ふたを開けたら高校生～70代まで、男女25名の参加者と会議をおこなうことができました。

“会議”といってもカたいものではなく、与えられたお題に関して思いついたことを次々発言していく、という形式。5グループに分かれましたが、市職員3名・協力隊2名がそれぞれの卓につき、ファシリテイト。書き留めるのも大変なので、基本、それぞれの意見を大きめの付箋に書く形で、順繰り発表する形式で行われました。

会議内容については、別途報告をさせていただきたいと思います！



2月18～19日「ひろさき食のみらい映画祭」@弘前偕行社

持病が発覚したことにより、食について興味を持ち始めた私。

昨年度にミニシアター系の映画を見る機会がありました。いい映画が多かったのですが、弘前での上映館がなかったので自主上映をしたいと思い、知人である鹿内葵氏に相談。

結果、彼が代表を務める一般社団法人みらいねっと弘前で上映することになり、さらに映画に関係する県内の実践者等をゲストに迎え、トークショーをすることに。

食の安全やタネの権利、地域在来のタネの話、食育の話などの映画を自主上映します。

トークゲストの古川さんは岩木地区のご出身！

また、販売ブースではたちばなや<古川さん>、陽光ファームいわき(葛原)、山の子(高岡)の出店があり、“北の魔女の家”で提供されるご飯の生産農家さんは岩木山虹農園(葛原)と、何かと岩木にゆかりが…。

昨年3月から2人で準備を進めてきた企画ですが、12月に応援スタッフも増え、ようやく上映にこぎつけました。弘前市の1%助成も受けております。

電子チケットを予約するか、当日会場にいらしてチケット購入されるかの2つの参加方法がございます。

お時間ある方は、ぜひご来場ください。



上映情報の詳細や、チケットのお申込みはこちらから。⇒



展示やいます！「青森の和ハーブ～身近な植物を活かす～」

2月23日から、鳴海要記念陶房館にて開催いたします。

私が所属する「あおもり和ハーブの会」の先輩方が撮影した写真を中心に展示いたします。

すぐそこにある自然。厄介者として片づけてしまう雑草。

でもそれらはのほとんどは、薬草や生活に役立つものとして長いあいだ利用されてきました。

その知恵が忘れられつつあることに私は危機感を覚え、残したいと考えたことから地域資源である野草・山草についての学び始めました。(←地域のことを調べ始める前は、ほぼ関心がなかったので、ゼロベースからのスタート)

写真パネルは、昨年10月から約1か月間、青森市森林博物館で展示されていたものです。

それに加え、陶房館で所有している草木染の布等も一緒に展示いたします。

会期中は、陶房館の無料スペースでの展示となりますので、来館のリピート、お待ちしております！！



春を迎えて山に入る前に、身近な有用植物を再確認しませんか？

◆◆ 編集後記 ◆◆

この新聞を書いているときは大寒波、真っ最中。自宅の屋根雪が気になります。昨年は雪が多かった…、と考えていたのですが、今シーズンの雪捨て場は、1月末時点で昨年のピーク時の状況になっており。2月いっぱい、雪の心配が尽きません。退任まであと1年ちょっと。岩木地区内の新拠点を探しつつ、この冬を乗り越えたいと思います。

WANTED

空き家を探しています！

探してます！



岩木地区に農業体験等のできる拠点をつくりたいと考えております。

拠点づくりに使える空き家を探しています。

(物件への要望)

- ・退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・部屋数多め（5室以上あると嬉しい）。
- ・リフォーム・リノベーションをしてもよい。
- ・車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば” 里山や畑に行ける場所。
- ・賃料やその他条件⇒相談させてください。

「空き家になる予定があって…」 「親せきに管理まかされているけど…」 「1部屋だけは立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思います！

杏・梅などの放置果樹

相変わらず、放置果樹を募集しています。

柿は、ご協力くださる方がたくさん見つかりました。

ありがとうございます！

枝切りをするものもあり、“果樹の特性について勉強しなきゃ…”と。世の中、学ぶことはまだまだたくさんあるな、と思いました。

そんな私に、梅や杏など、「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけくださいませ！



連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsumijura@city.hirosaki.lg.jp

もろもろ情報
お待ちしております！



「いわき探検記」の直近のバックナンバーは、市のホームページからご覧になれます。古いものは、岩木庁舎でファイルしております。ご覧になりたい方は、岩木庁舎まで。